

4年
連続!

国民健康保険税が値上げ



国民健康保険税(国保税)が4年連続で値上げとなります。市は2026年まで連続値上げを予定しています。私は「自営業、非正規労働者、退職後の高齢者など、資力の少ない加入者が多い国保は、国の国庫負担金の削減で、協会けんぽ等の医療保険に比べ

て保険税が高くなっている。全国知事会も国費の1兆円投入を要望している。市としても一般会計からの繰り入れを適正に行うことで赤字を解消し、国保税の値上げを抑制するべき」と主張し、議案に反対しましたが、他会派の賛成で可決されました。

委員会質問

見沼区から市立病院に行きたい!

送迎バスの導入を求めて

さいたま市立病院の利用者を区ごとに見ると、見沼区は4番目に高い利用人数です。しかし、見沼区から市立病院に行く公共交通機関がありません。私は、大宮駅から見沼区を通過してさいたま市立病院に行ける送迎バスの導入を求めま

した。市は「病院が直接運営する送迎バスは検討していない。民間バス事業者に働きかけていきたい」と答弁しました。

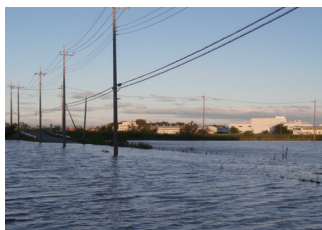
市立病院が直接運営せずとも、市と協議して、市の責任で送迎バスを実現することは可能です。今後も実現に向けて求めていきます。



「食肉中央^{ちくじょう}市場・と畜場^{とくじょう}」と「道の駅」

食肉中央卸売市場・と畜場(大宮区)の老朽化に伴い、「道の駅」と一体のものとして見沼区宮ヶ谷塔への移転計画が進んでいます。建設予定地は、台風19号の際には全面的に浸水し、道路も冠水しました(写真)。建設計画では治水に寄与した水田の40%が失われる上、軟弱地盤という問題も残されています。東日本大震災や熊本地震でも、宮ヶ谷塔より強固な地で、と畜場が倒壊していることを考えると、慎重な検討が求められます。住民説明会では不安や懸念が噴出しました。

設置された協議会では経済効果を中心に審議が進んでいますが、党市議団は「大規模な開発事業の実施が環境に及ぼす影響についての調査、予測及び評価を行い、結果を公表する『環境影響評価』を行うべき」と求め、市は「検討と協議を進める」と述べました。



片柳小学校 バス通学児童全員に全額補助を



片柳地域から38人の児童がバス通学をしています。3キロメートル以上の16人のみに半額補助があります。教材費や給食費が重くのしかかる保護者に、この地域だけバス代まで負担するのはあまりにも理不尽です。38人全員のバス代は86万4,500円。私は、「バス通学児童全員に全額補助を」と求めました。

さいたま市は保健所が足りない

新型コロナウイルスの広がり、混乱が続いています。医師をはじめ看護師、保健師、精神保健、難病対策、感染症対策等の専門家が配置されているのが保健所で、区ごとの保健センターではその役割は果たせません。コロナ対策でも検査の判断ができるのは市内に1ヶ所しかない保健所です。私は検疫体制の強化、医療体制・保健所機能の強化・拡充と、将来的な増設を強く求めました。



日本共産党 さいたま市議会議員

とば めぐみ

お問い合わせ

とばめぐみ事務所
見沼区東新井4-17 TEL 048-686-7069
市役所内 日本共産党議員控え室
TEL 048-829-1811

